

# ぶちたまご



「プチハウスの子どもたちは、絵本が大好きです。当園では毎月絵本だよりを発行し、子どもたちの好きな絵本を紹介しています。保護者の方にもお家での絵本について書いていただいています。今回はてくてく組の雅心くんのお母さんに書いていただきました。」

本棚から次々に本を出し、その時の気分にあった本を黙ってめくる雅心。こちらに気づくと、「これ読んで」と持ってきてくれます。あまり本にはこだわりがない様子で、毎回持つてくる本が違います。(ただし、戦隊ものや仮面ライダーなどは別格。)でも読んであげると何回も「もっかいよんで(もう一回読んで)」と言います。

本に対するこだわりはあまりないようですが、「よいしよ」という本は車好きの雅心にとって好きな本の一つ。はつきりした絵、繰り返しの内容はまさに絵本の中の絵本。

もう一つ、姉たちが楽しそうに見ていたせいで、飛び出す仕掛け絵本「おそろしい捕食動物」もだいぶ気に入っています。少し怖い本はやはり魅力的ですね。何回も見たいので、開くと飛び出す仕掛けが、本を閉じているのに端っこから飛び出してしまっています。一方、子どもが必ず眠くなるという噂の絵本「おやすみロジャー」。「子どもたちははまったく眠くならず、読んでいる私がとても眠くなってしまいました。以来本棚から取り出すことはほとんどありません。」

五十嵐雅心くんのお母さん

五十嵐早苗さん

## わくわくおもちゃ

### 「はらぺこあおむし」のスナッフ&マジックテープあそび

子どもたちが大好きな「はらぺこあおむし」をモチーフに、楽しく手先を使ってあそべるように作りました。手先に力を入れやすいようにプラスチックの菓子容器を使用しました。「ほくのあおむしだ！」などと興味津々の子どもたち。初めは手先に力を入れることができず、うまく合わせられない姿がありました。あそび中でしっかりと持つことや凸と凹を合わせることができると、ひとりですることができるようになりました。スナッフを合わせることがまだ難しい子は、マジックテープの方を楽しんでいます。



### 「はたらくくるまのひも通し」

子どもたちに大人気の「はたらくくるまのひも通し」を牛乳パックで作りました。指先を上手に使いながらひもを通し、「ピーポーピーポー」「出発しまーす」など運転手になりきってあそんでいます。大好きな「はたらくくるま」ということもあり、興味津々で喜んであそぶ姿が見られます。



## 編集後記

楽しくあそんでいる時の子どもたちの表情は、とても豊かでかわいらしいものです。満面の笑顔、集中している真剣な顔、時には思うようにいなくて泣き顔も見られます。そしてそのそばには、いつも笑顔で穏やかな表情の保育者がいます。

「あそび」は子どもの成長に欠かせない、とても大切な経験だと思います。子どもたちがさまざまなことに興味を持ち楽しくあそぶことができるように、これからも環境を整え温かく丁寧にかかわっていききたいと思います。(安久津 記)



### あかちゃん組 「いっしょ いっしょ たのしいね」

いつも一緒に過ごしている友だち。顔を見合わせて「はー」とすると自然と笑顔がこぼれます。



### とことこ組

### 「山すべり たのしいな〜」

斜面を登ったら、今度は下り坂。お尻で「すし、すし、すし…」とすべる子どもたち。公園で元気いっぱいあそんでいます。



### てくてく組

### 「これくたせーい！」

お友だちと一緒に店員さんとお客さんになりきってごっこあそびを楽しんでいます。



### えくぼ組「あっちいこうよ!! 「まって〜」

暑い夏でも元気いっぱい。公園の木陰で、追いかけっこを楽しんでいます。

## 『ともだちづきあい』

プチハウス 園長 山口 武揚

小さい子どもたちが並んであそぶ姿は、とても微笑ましくて癒されます。みんななかよしこよしです。でも油断は大敵。突然おもちゃや場所の取り合いが始まります。押したり、押されたり。このようなシーンは日常茶飯事です。しかし、動じず慌てず。トラブルも子どもたちにとって貴重な経験です。

子どもは泣いたり、笑ったり、怒ったり、友だち同士のかかわりや心のやりとり、経験から社会性や協調性、コミュニケーション能力を身につけていくのではないのでしょうか。

私たち大人は、そんな子どものあそびを静かにじっくり見守れる、心のゆとりを持ちたいものです。

# プチハウスの春夏秋冬

## ～子どもたちのあそびの姿から～

プチハウスは市の中心部に位置し総合公園が隣接しています。とても恵まれた環境の中で、子どもたちは四季を感じながら公園や園庭で自然に触れたり、身体を十分に動かしてあそんでいます。室内でのあそびも、子どもの興味や発達に合わせて環境を整え自らあそぶことができるようにしています。そして他のクラスとの交流の中で、大きい子の真似をしたり、小さい子を誘ったりしながらさまざまなあそびを楽しんでいます。



### 春



みんなでお散歩に  
しゅっぱーつ!

桜の木の下をみんなで一緒にお散歩です。満開の桜を眺めながらとてもいい気持ち。みんなしゅっぱーつ歩いていきます。



み～つけた

園庭には、花やクローバーなどがあります。保育者と一緒にクローバーを摘み、葉の形を見たり、手首に巻いたりしてくり返しあそぶと、子どもから摘んだりする姿もみられるようになってきます。



### オープン保育

小さい子にあそび方を伝えたり、大きい子のあそびを真似てみたりとお互いに刺激を受けながら、一緒にあそぶことを楽しんでいます。



♪あわぶく  
たつた  
にえたつた～

### 夏



水あそび  
たのしい!

水あそびの着替えや準備を自分でしています。顔に水がかかっても大丈夫。ダイナミックにあそんでいます。



ちやぶ ちやぶ  
きもちいいな～

沐浴槽にとっぷりつかって汗を流し、気持ち良くすごしています。

シャボン玉  
とんだ～!

プチハウスでは、テラスも子どもたちのあそび場のひとつです。テラスで保育者と一緒にシャボン玉をすることが大好きです。



どれが  
いいですか?

これ  
くださーい!

### 秋



りんご狩りに  
きたよ

「クルクルとりんごを回してとるんだよ」とりんご園のおじさんに教えてもらいました。「わあ～おつきい!」ほくのりんごGETです。



落ち葉いっぱい  
きれいだな

もみじが落葉するとき綺麗な布団のように見え、子どもたちはその上を歩いたり触ったりして秋を感じています。

りんごを  
パク!!

自分でとった大きなりんごです。おひさまの下で、皮ごと「パク!」採りたてはおいしくて、全部食べた子もいました。



大きな大根、  
抜けるかな?

「うんとどしよ、どつどしよ…」みんな種をまいて、水やりもがんばりました。大きな大根がたくさん収穫できました。



### 冬

みて～  
わたれるよ

冬期間は室内で過ごすことが多くありませんが、巧技台や鉄棒、ボールあそびなど体を動かしてあそべるように工夫しています。巧技台のはしご渡りは、手足を上手に動かして渡れるようになり喜んであそんでいます。

初めての雪あそび。雪だるまを作ったり、ゆっくりゆっくり歩いたりして、雪の感触を楽しみました。



うわ～  
つめたい!

これ  
なに?

ビニールプールを準備すると、不思議そうに雪を見ている子どもたち。保育者が雪を差し出すとそっと雪に触れたり、握ったりしながら感触を楽しんでいます。

